

HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1991. 1. 42号

「新年、この盃が楽しみ」

はなやか神戸別院元旦会

新年恒例の神戸別院元旦会がたくさんの門信徒にお参りをいただき、輪番はじめ全職員が出動し厳修されました。

朝七時、本堂で行事鐘と共に供飯、讃仏偈のお勤め

をし、引き続き別堂にて次のように修行された。

諸僧入堂着座、御仏飯上供、輪番着座(持念)、両脇前焼香、登礼盤、正信偈(行譜)、念仏和讃(弥陀成仏)、降礼盤、還着本座

お同行の中には「毎年この盃をいただくのが楽しみ」と言われずにあえて「火宅



御流盃の儀で清酒をつぐ職員

無常」と言われたのは、まるで家が火だるまになって逃げ迷っている姿のように、生きざまとして心におちつきのない、どうしていいかわからない不安な状態のことです。これを指し示して下さったのであります。「火宅」の言葉をもって人間の心の営み、生活そのものをあらわそうとの深い御思慮を伺うのであります。

煩悩を抱えて生きる外ない己を見つめ、無常観と云うよりも苦悩を生きる外ない、どこまでいっても救いようのない私そのものを見つめよとおおせと受けとめたいのであります。

限りの無いのち(智慧)の救いの中に、事実として現にただ今、ゆるされて生きていくではないか。みな辛抱のなかで生かされているではないかと気づけよとおおせであります。

この世のことはすべてそれごと、たわごとであるが故に、そこに私をおめあてのお慈悲の中であると喜べよと、あえて「火宅無常の世界」とおっしゃっていただいた聖人のお心を感佩するのであります。

この「お言葉」を年頭に贈り、この一年みなさま共々、念仏の日暮らしをさせていただきます。

一九九〇年は国連が定めた「国際識字年」とされている。これから一〇年間、つまり西暦二〇〇〇年まで識字の世界的運動がスタートする。ユネスコが調査した一九八五年の統計では、読み書きのできない人が八億八九〇〇万人いるとされている。日本でも二七〇万人の非識字者がいるとされ、その人びとのほとんどが、日本社会における差別、人権侵害を受けて生きている。こういって非識字者の救済機関は、夜間中学校とされるが、文部省は認めていない。ヤミ学校である。東京八、神奈川六、千葉・京都各一、大阪十、奈良二、広島三、兵庫三、という分布で、全国に三四校設立されている。これらの学校は、社会の矛盾、政治の矛盾をすべて抱えながら日の当たらない道を歩いている。◆あの狭山事件の石川一雄さんが、死刑判決をうけた永山則夫さんが、夜間で学んでいたら、現在の状況はなかったであろうと思う。「学ぶは生きる」の人間回復の場でもある。寺子屋教育を見直したい。

(瑞穂光信)

1・2月

教区だより

1月14日(月)~16日(水) 別院常例 光森宣明師(北摂組正覚寺)	1時半	3日(月) 教区仏社連盟常任理事会	10時半	理事会	1時
18日(金) 都市開教推進部会	1時半	7日(木) 別院仏婦常例 柳川真隆師(北摂組願生寺)	1時半	本山	1時半
19日(土) 研修読本作成部会	10時半	如月忌法要(九条武子夫人を偲ぶ)	本山	1時半	
20日(日) 別院仏婦報恩講	1時半	13日(水) 第三回ビハーラ研修会 梯実圓師(教学研究所教授)		1時	
23日(水) 都市開教公開講演会 足利孝之師(阪神東組安養寺) 岡山市江並教堂	1時半	第三期寺族婦人連統学習会			
28日(月) 基推委企画推進室会議	10時半	14日(木) 岡山市開教公開講演 足利孝之師 江並教堂		1時半	
29日(火) 教区仏婦連盟委員総会	10時半	14日(木)~16日(土) 別院常例 藤山達郎師(神崎組乗徳寺)		1時半	
教区少年連盟役員会	3時	21日(木)~22日(金) 教区総代会一泊研修会		城崎	
2月1日(金)~2日(土) 近畿ブロック仏婦役員会	赤穂	24日(日) 第三回若婦人の集い			
2日(土) 第一土曜仏教講座 北高経昭師(西本願寺参務)	1時半	25日(月) 近同推総会		京都洛兆	
2日(土)~3日(日) 第三連区門徒推進員研修会	滋賀	26日(火) 教区基推委総会		10時半	

真剣に仏教章取得

冬空を半袖でスカウト講習

去る十二月二十二日(土曜日)と二十三日(日曜日)の両日にわたり、兵庫教区スカウトクラブ主催の仏教章取得講習会が神戸別院で開催されました。

兵庫教区内のボーイスカウトの内、浄土真宗本願寺派の仏教章取得を志す三十二人のスカウトが受講した。仏教章を取付するには、真宗教義や仏教教義、動式作法など決められた課題を修得しなければいけないので、受講者は厳しい日程にもかかわらず真剣なまなごで研修を受けた。

講義の内容としては、釈尊の伝記と仏教教義は長沢弘之師(阪神東組覚円寺)真宗教義は井上朋義師(加古川組正願寺)仏教行事と仏教章・仏旗等、全般にわたるスカウトクラブ会長の赤松義光師(網干組政源寺)が指導にあたり、動式や作法・讃歌は教務所職員が担当した。

さすがにスカウトの講習会で行動が活発、機敏で有意義なうちに日程を終了し、スカウトそれぞれも今後の課題に取り組みべく各地へ戻っていった。



制服、正座でガンバルスカウト

生前の「苦勞を偲び 謹んで敬弔の意を表します。(敬称略)

岡山北組法眼寺住職 「和教院釋靈哲」 森 靈哲 12月12日 76才
養父組安養寺衆徒 「善巧院釋隆信」 岩田 隆信 12月14日 83才

HOYOG

スキーで冬をぶつとばせ!

来る三月二十四日から三泊四日で長野県にある志賀高原一の瀬スキー場で兵庫教区スキーツアーが開催されます。

教区仏青としては初の試みとなるこのツアーの対象は教区内の寺族、門信徒、仏青で、貸しスキーや貸しウェアもありスキーの腕前は問いません。

二十四日の夜に神戸別院をバスで出発し、車中二泊で一泊は志賀ホワイトホテルで二十七日の朝六時頃に別院で解散予定。

参加費は一人二万三千元(バス代、宿泊、三食、保険含む)で、参加希望の方は二月二十五日までに教務所まで参加費を添えて申し込み下さい。

なお、定員は四十人ですが、三十人に満たない場合は中止します。問い合わせ等詳細は教務所まで。

◆22日 組長ブロック長会議。門徒推進員の委嘱変更での協議には、本山の運動本部より吉川事務局長にも同席頂き、本部としての変更の意義やその願いを聞かせて頂くと共に、組長からは兵庫教区の実情や今後の課題、推進員の位置づけなどの意見交換があった。◆22日 23日 スカウト仏教章取得講習会(別記) ◆25日 組長会議 ◆結集大会実行委員会反省会。大会の参加者や決算現況などの報告がなされた。◆研修会等を使いたいので大会やスライドを一時間程度のビデオとして制作し、貸し出しに欲しいとの意見もあった。◆26日 27日 教区内の住職五十年・僧侶九十才表彰に各寺を教務所長伝達 ◆27日 職員忘年会 ◆28日 教務所の事務終了式を本堂で ◆1月1日 別院元旦会(別記)。

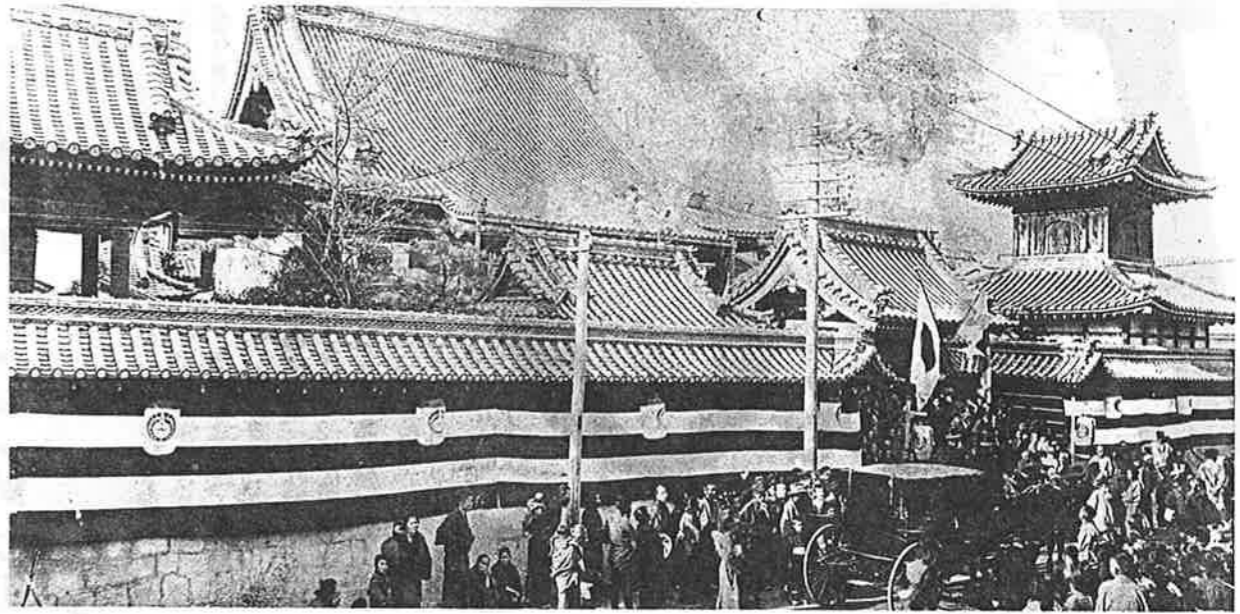


一九九〇年は国連が定めた「国際識字年」とされている。これから一〇年間、つまり西暦二〇〇〇年まで識字の世界的運動がスタートする。ユネスコが調査した一九八五年の統計では、読み書きのできない人が八億八九〇〇万人いるとされている。日本でも二七〇万人の非識字者がいるとされ、その人びとのほとんどが、日本社会における差別、人権侵害を受けて生きている。こういって非識字者の救済機関は、夜間中学校とされるが、文部省は認めていない。ヤミ学校である。東京八、神奈川六、千葉・京都各一、大阪十、奈良二、広島三、兵庫三、という分布で、全国に三四校設立されている。これらの学校は、社会の矛盾、政治の矛盾をすべて抱えながら日の当たらない道を歩いている。◆あの狭山事件の石川一雄さんが、死刑判決をうけた永山則夫さんが、夜間で学んでいたら、現在の状況はなかったであろうと思う。「学ぶは生きる」の人間回復の場でもある。寺子屋教育を見直したい。

(瑞穂光信)

ありし日の大伽藍

明治の別格別院善福寺(現神戸別院)



神戸別院が兵庫教区における教化伝道の中心として、人材の育成のために設備の充実が望まれて久しいのですが、最近に別院の蔵から発見された明治時代に善福寺(現神戸別院)として神戸市民に紹介された当時の写真をここに紹介します。神戸別院復興計画も準備会、協議会をへて、昨年の十月には教区令に従い「第一回の教化センター設立委員会」も開かれ、その構想に向け進んでおり、明日の教区を、また教団を展望する参考ともなるのではと思いいここに掲載致します。

写真で確認できますように、それまでは別格別院善福寺として木造建築の大伽藍でありましたが、大正六年一月二十四日、火災により焼失、翌二十五日の神戸新聞には災をあげ黒煙に包まれる本堂の写真と共に次のような「名利善福寺鳥有に帰す」(寺男部屋を残して本堂鐘樓その他ごとく焼く)と題した記事が……午後三時四十分頃、別格別院善福寺の本堂伽藍の東北隅の縁の下より出火し火の手は見る見る本堂の床下より伽藍の柱を伝ふて内陣外陣に広がりてたちまちの中に猛火となり紅蓮の炎は勢い凄まじく瞬く中にさしもに神戸宗教界の権威として幾千百の信仰の目標たりし八間四角の本堂大伽藍の大屋根を打ち抜きドツとばかりに燃え上がり遂に午後四時十五分一大音響と共にこの一大伽藍はあへなくも焼け落ち……

明治四十一年特命住職となった大谷尊由師と伝えられる……



本堂の前で子供たちの記念撮影(大正二年)

昭和五年十一月二十五日には復興に着手、昭和五年大谷尊由師の導師で「善福寺開堂法会」が厳修され、翌二十六日の神戸新聞にも次のように。

「海港神戸に……皮肉にもビルマの古い建築で現れながら、モダン寺と呼ばれて何となく市民に親しまれている花隈の善福寺は、昨二十五日その開堂慶讃法会を執行了た。

午後二時本山重役以下来賓名士及び一乗婦人会、善福寺尼講など三百余名大講堂参集、黒衣に五采袈裟の尊由師導師のもとに奏楽散華、讚佛偈誦講の一座法要型の如くあつてのち、尊由師は輪袈裟に改めて壇上に現れ。

「善福寺本堂火災のあとを受けて、同行衆の熱誠により斯く立派に再建されたことは、佛恩のあり難い事を感謝すると共に皆さんの御尽力を嬉しく思ふ。凡そ寺には修行を目的とする自力門と聞法を主とする浄土真宗とがある。善福寺はその法を聞く寺であるから未信の人もなるべく多く迎えて法味愛樂の所としたい」と挨拶を述べ、これに対して婦人会代表西本つね子氏及び勘定総代菅音次郎氏の祝辞などがあつて、別室で尊由師を中心としてお斎の膳に就いた。」と。

二次計画大綱を検討

HOUEKI

◆12月6日 研修読本作成部会。各項目別の執筆者に再度執筆原稿の修正を依頼しておりましたが、原稿が出揃ったので、文体や語句、写真などを検討し今年度末の三月発行を目指すこととなった◆神戸中央区の仏教会主催の税務研修会に別院からも職員が参加◆7日

播磨国訴訟の原告の一人でもあられる。その講演のなかで、裁判については常識で思われることとは逆で、被告より原告のほうがシンク、原告には立証の義務があるが被告は受けて立つだけである。また、難しい事はたとえば、地方自治体は憲法違反の行為をした場合は行政訴訟で決着をつけることが出来るが、国が憲法違反の行為をしても憲法訴訟をする道はない。残された道は、精神的または肉体的損害を原因とする国家賠償法による訴訟しかない。などの師の思いや、信教の自由にたいする意見など、青僧会員一人一人が自分ならどうするかと考えさせられたのではないか◆13日

14日 連区推進専従員研修協議会を奈良で開催。各教区の教区相談員と専従員などが参加、講義は住職意識調査報告書を通しての題で岩本孝樹師(基幹運動本部員)その報告書は全国寺院の四分の一に当たる二千五百か寺の調査を昭和六十四年十二月に実施し、四割の回答から報告したもの(平成二年四月運動本部発行)「差別が何かが見抜けない住職が多い」や「知識と差別を解消する為の目を持つ事とは別である」などの指摘もあった。この調査のさらなる分析、教団に対する提言等々早急に望まれる◆14日 寺族婦人会委員総会。修了後別院近くで忘年会を兼ねた懇親会もあり職員も全員参加してプレゼント交換など和やかなひとときでありました◆14日 16日 別院常例。講師は備後教区より小滝信生師◆16日 淡路組万寶寺(藤本教信住職)本堂屋根替落成慶讃法要に本山よりの祝辞伝達に教務所長出席◆17日 17日 布教団副団長会議と役員会。四百回忌

法要の本山出講布教使推薦、四百回忌の教区お持ち受け布教大会などについて◆社会福祉推進協議会総会◆18日 近畿ブロック寺族婦人会大会を奈良県大和高田市で開催。教区から百二十人参加◆19日 企画推進室会議。第二次兵庫教区基幹運動推進(4ページへ続く)

◆12月6日 研修読本作成部会。各項目別の執筆者に再度執筆原稿の修正を依頼しておりましたが、原稿が出揃ったので、文体や語句、写真などを検討し今年度末の三月発行を目指すこととなった◆神戸中央区の仏教会主催の税務研修会に別院からも職員が参加◆7日 8日 中部・近畿仏徒連絡協議会が京都市内の堀川会館で開催。教区連盟からは中尾勝理事長(永上西組)吉本盛雄副理事長(多可組)が参加◆9日 神戸市仏教会主催の成道会を灘区の高野山真言宗金剛福寺で。別院からも職員出席、勤行は真宗の重誓偈と般若心経でした◆10日 11日 大阪管区矯正教化一泊研修会を津村別院◆11日 京阪神都市開教本部会議を津村別院◆12日 本山教務所長会◆青年僧侶の会研修会を別院で。政教分離と信教の自由と題して講師は尺一顕正師(揖尾西組西楽寺)師は現在ご承知のように「国家が宗教に介入した」としての



別院会議室で企画推進室会議

14日 連区推進専従員研修協議会を奈良で開催。各教区の教区相談員と専従員などが参加、講義は住職意識調査報告書を通しての題で岩本孝樹師(基幹運動本部員)その報告書は全国寺院の四分の一に当たる二千五百か寺の調査を昭和六十四年十二月に実施し、四割の回答から報告したもの(平成二年四月運動本部発行)「差別が何かが見抜けない住職が多い」や「知識と差別を解消する為の目を持つ事とは別である」などの指摘もあった。この調査のさらなる分析、教団に対する提言等々早急に望まれる◆14日 寺族婦人会委員総会。修了後別院近くで忘年会を兼ねた懇親会もあり職員も全員参加してプレゼント交換など和やかなひとときでありました◆14日 16日 別院常例。講師は備後教区より小滝信生師◆16日 淡路組万寶寺(藤本教信住職)本堂屋根替落成慶讃法要に本山よりの祝辞伝達に教務所長出席◆17日 17日 布教団副団長会議と役員会。四百回忌

新年賀

- 勝島 徹正
- 赤松 法雄
- 北村 昌康
- 安井 秀頭
- 菅野 弘和
- 竹内 英昭
- 尾井 秀瑛
- 高藤 昭文
- 岡本 達美
- 松本 了忍
- 岡崎 信明
- 鷺尾 衛鳳
- 山崎 泉
- 泉井 美恵子
- 西笑 子

神戸市中央区下山手通八、一
電話(〇七八)三四一―五九九